

道路メンテナンス事業補助制度要綱に基づく
個別施設計画書

5-1. 計画全体の方針

5-1-1. 老朽化対策における基本方針

① 長寿命化修繕計画の目的

大多喜町は、トンネル長寿命化修繕計画及び直近のトンネル定期点検結果に基づき、事業実施成果の検証と予防保全段階からの必要な措置及び長寿命化計画に基づく予防保全型管理を検討することで、予算の平準化及び維持管理コストの縮減を行うことを目的とするものである。

② 対象施設

大多喜町が管理するトンネル（※「5-2. 個別の構造物ごとの事項」に示す全 25 トンネル）

③ 計画期間

2025 年～2029 年までの 5 年間とする。

④ 個別施設の老朽化の状況

いくつかのトンネルでは築造後 50 年以上が経過しており、一部で速やかな補修等対策を要する損傷が見られる。

⑤ 対策の優先順位の考え方と目標

点検による健全度判定に加え、交通量、緊急輸送路（1 次・2 次・非該当）、道路種別（1 級・2 級・その他）、観光道路（観光地アクセス）、行政境道路、生活用道路（バス路線、通学路、公共施設アクセス、限界集落・孤立集落アクセス）、補修要望といった評価指標を点数化し、これらを勘案して、対策優先順位を決定する。このことにより、構造物としての性能を一定水準以上保持することを目標とする。

5-1-2. 新技術の活用方針

(1) 新技術等の活用に関する取組み方針

国土交通省では戦略的に新技術の開発に取り組んでおり、インフラの点検・診断を中心にこれらを活用した効率的・高度化された点検手法等が広まり始めている一方、新たに開発された有用な技術が維持管理の現場における問題解決に活かされていない場合が多い。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、新技術・官民連携手法の導入促進等の推進を挙げている。

Ⅱ. 新技術・官民連携手法の普及促進等によるメンテナンスの生産性向上の加速化

多くのインフラを管理する一方、メンテナンスに携わる人的資源が不足している地方公共団体等が適切かつ効率的なインフラメンテナンスを実施していくため、新技術や官民連携手法の導入促進など、メンテナンスの生産性向上に資する取組の推進を加速化する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28 より抜粋

また、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、新技術等の導入促進に関し、将来的に戦略的な維持管理・更新等を行うべく、以下3つの目標設定とその達成に向けたロードマップを明示した。

1. 未成熟の維持管理・更新に係る技術（メンテナンス技術）の基盤強化を図るとともに、将来にわたって安全で強靱なインフラを維持・確保するためのシステムを構築することで、国土の脆弱性に対応した「安全で強靱なインフラシステムを構築」する。
2. 時代とともに変化する社会の要請に的確に対応し、かつ将来必要な人材の確保・育成も含めた戦略的な維持管理・更新等を行うべく、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ることで持続可能で活力ある未来を実現する「総合的かつ一体的なインフラマネジメント」を行う。
3. 世界最先端の技術に支えられた安全で強靱なインフラを維持・確保するシステムを、我が国はメンテナンス産業として発展していくことが重要である。研究開発の推進によるイノベーションの創出や市場の整備、国際展開等の取組を通じ、「メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化」を実現する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.2～3 より部分抜粋、適宜要約

大多喜町では、トンネルの管理における上記1～3.の目標実現に向けた取組の1つとして、定期点検や修繕等での「新技術等の導入」を積極的に推進する。新技術等の活用の効果として、維持管理・更新等に係る費用の低減を図りつつ、目視等のこれまでの手法で確認困難であった損傷箇所等へ対しても的確に点検・診断・対処が可能となる。

大多喜町のトンネル維持管理事業で、新技術等の活用に関する検討にあたっての基本方針を、以下に整理する。

- 1) 検討を行う対象施設は、管理している全てのトンネルとする。
- 2) 「点検・診断」で活用する新技術等は、主に「点検支援技術性能カタログ(案)」に掲載している技術（画像計測技術、非破壊検査技術、計測・モニタリング技術等）を対象とする。近接目視と同等以上の効率化・高度化・コスト縮減等の観点から、対象施設への適用性を判定する。
- 3) 直近の定期点検で採用した点検手法を新技術等に代えた場合での活用効果が、品質面やコスト面等で従来手法を上回ることが明らかに困難である場合は、上記2)の判定を行う対象施設とはしない。この場合の従来手法は、「地上からの作業、梯子・脚立等の使用、汎用タイプの高所作業車（例：リフト車、積載質量200kgまでのトンネル点検車）の使用」による点検・診断を指す。
- 4) 「措置（：主に監視、修繕）」で活用する新技術等は、主に「NETIS 新技術情報提供システム」及び「点検支援技術性能カタログ(案)」に登録・掲載している工法・材料を対象とする。性能向上や措置の省力化、コスト縮減等の観点から、従来工法・材料と比べて上回った採用効果が期待出来る新技術等を抽出して、対象施設への適用性を判定する。
- 5) 上記4)の判定を行う対象施設は、直近の定期点検の結果より修繕等を必要と判断した（健全性診断の判定区分がⅢまたはⅡaである）トンネルとし、これらに対して優先して検討する。
- 6) 上記2)～5)の検討では、本計画での数値目標として、今後5年間（令和7年度～令和11年度）でのコスト縮減率（新技術等活用による縮減総額／従来方法での総費用）を設定する。
- 7) 本計画で提案した新技術等の採用にあたっては、経済・施工・品質等の観点から従来方法や策定後に発出した技術等との詳細な比較検討を行い、発注者との協議を経て採用の是非を決定する。

(2) 対象施設での適用性

本計画の対象トンネル 25 施設に対し、「点検・診断」「措置（監視、修繕）」における新技術等の活用について検討を行った。なお、検討の詳細な内容は後述する根拠資料に示す。

1) 点検・診断業務

表 1. 短期計画における点検対象トンネルと新技術適用検討

番号	路線名	施設名	延長 (m)	全幅員 (m)	有効高 (m)	覆工面積 (㎡)	走行型計測 システム	地上撮影・ 解析技術	ロボット型 うき・はく離 検出技術	コスト縮減 の可能性
1	町道上原京殿線	横吹トンネル	33.0	4.3	4.2	419.1	×	×	×	無し
2	町道中野大多喜線	西部田トンネル	41.5	7.0	4.3	644.9	×	×	×	無し
3	町道湯倉西部田線	弥喜用トンネル	74.0	6.9	3.8	1073.0	×	×	×	無し
4	町道湯倉西部田線	湯倉トンネル	80.5	5.8	4.7	1223.6	△	△	○	無し
5	町道中野大多喜線	竹の沢トンネル	70.5	6.6	3.7	987.0	×	×	×	無し
6	町道堀切牛久線	やまびこトンネル	72.0	8.3	4.5	1245.6	○	○	○	無し
7	町道堀切牛久線	御行堀トンネル	57.0	7.2	4.7	946.2	×	×	×	無し
8	町道堀切牛久線	栢ノ木隧道	95.0	7.7	4.4	1563.7	○	○	○	無し
9	町道堀切牛久線	沢向トンネル	86.5	7.1	4.5	1392.7	○	○	○	無し
10	町道中野大多喜線	方丈谷トンネル	65.0	8.6	5.0	1207.7	×	×	×	無し
11	町道葛藤筒森線	向山トンネル	91.0	4.3	3.4	1010.1	×	×	×	無し
12	町道葛藤筒森線	共榮トンネル	34.0	4.3	3.6	391.0	×	×	×	無し
13	町道葛藤筒森線	塚越隧道	101.0	5.9	4.1	1424.1	×	×	×	無し
14	町道葛藤筒森線	蕪来3号トンネル	10.5	3.6	2.5	90.3	×	×	×	無し
15	町道葛藤筒森線	蕪来4号トンネル	25.0	3.6	2.5	215.0	×	×	×	無し
16	町道葛藤筒森線	牛尻戸下トンネル	75.0	3.5	2.4	622.5	×	×	×	無し
17	町道葛藤筒森線	牛尻戸上トンネル	31.8	3.9	2.4	276.7	×	×	×	無し
18	町道星井畑線	春釜トンネル	76.5	4.9	4.0	986.9	×	×	×	無し
19	町道星井畑線	筒野上トンネル	78.5	4.8	4.0	1004.8	×	×	×	無し
20	町道宇野辺当月川線	宇野辺トンネル	75.5	5.5	4.9	1155.2	△	△	○	無し
21	町道会所弓木線	弓木2号トンネル	97.0	4.4	3.2	1047.6	×	×	×	無し
22	町道会所弓木線	弓木隧道	135.0	4.5	3.3	1498.5	×	×	×	無し
23	町道黒原佐野線	川畑トンネル	171.0	2.5	2.2	1179.9	—	—	—	—
24	町道小川南線	東岩屋トンネル	82.5	2.7	3.4	783.8	×	×	×	無し
25	町道塚越蕪来線	清水代トンネル	46.0	2.5	2.5	345.0	—	—	—	—

記号凡例
「○」:適用可能
「△」:条件付きで適用可能
「×」:適用不可
「—」:適用検討の必要なし

目標の設定（点検）

- 管理対象の全25トンネルのうち、既存手法による点検に課題ありとした23トンネルを本計画における新技術活用の検討対象とした。
- 各トンネルで適用可能な新技術を用いた場合と既存手法を用いた場合で点検費用を比較した結果、いずれのケースでも既存手法による点検のほうがコスト面で有利であった。
- 以上の結果から、新技術活用によるコスト縮減は困難であると判断し、次回点検では従来手法による点検を予定する。

2) 措置（監視・修繕業務等）

表 2. 短期計画における補修対象トンネルと新技術適用検討の有無

番号	路線名	施設名	延長 (m)	補修計画(2025-2029)			
				詳細 調査 年度	補修 工事 年度	主要な対策工	新技術 適用検討 の必要性
						工種名	
2	町道中野大多喜線	西部田トンネル	41.5	2025	2026	断面修復工	有り
						ひびわれ対策工	無し
						はく落防止対策工	有り
						漏水対策工	無し
9	町道堀切牛久線	沢向トンネル	86.5	2025	2027	断面修復工	有り
						ひびわれ対策工	無し
						はく落防止対策工	有り
						漏水対策工	無し
						裏込め注工	有り
13	町道葛藤筒森線	塚越隧道	101.0	2025	2026	ひびわれ対策工	無し
						はく落防止対策工	有り
						腐食対策工	無し
19	町道星井畑線	筒野上トンネル	78.5	2025	2028	ひびわれ対策工	無し
						はく落防止対策工	有り
						漏水対策工	無し
						裏込め注工	有り
20	町道宇野辺当月川線	宇野辺トンネル	75.5	2025	2026	断面修復工	有り
						はく落防止対策工	有り
						腐食対策工	無し

目標の設定（修繕等）

- 管理対象の全25トンネルのうち、短期計画において補修工事を予定する5トンネルを検討対象とした。
- 想定される対策工について、既存技術およびNETISに記載された新技術を比較検討した結果、縮減額を6,092千円（直接費2,176千円）と試算した。
- 修繕は短期計画に則り、令和7年度から11年度にかけて実施を予定する。

3) 数値目標

新技術等の活用に関して、前述で掲げた取り組み方針に基づいて実行するにあたって、短期的に掲げる数値目標は下記のとおりとする。

- 令和11年度までに、大多喜町が管理する25トンネルを対象として、修繕等（監視を含めた「措置」全体を指す）での「新技術等の導入」を積極的に推進するための検討を行い、2割程度（5トンネル、20.0%）のトンネルで費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術の活用検討を行うことにより、費用を6%程度（点検診断および措置における縮減合計額6,092千円※¹、令和7年度～令和11年度の予算総額※²に対して5.7%）費用縮減することを目標とする。

※1 点検診断における縮減額：0千円、措置における縮減額：6,092千円（税抜）

※2 令和7年度～令和11年度の点検診断および措置における予想総額：106,971千円（税抜）

（措置における予想費用）：32,380千円

点検診断における予想費用：45,000千円（1,800千円×25トンネル×1回）

補修設計における予想費用：29,591千円）

措置における予想費用：214,323千円）

新技術等の活用に係るコスト縮減検討 根拠資料

5-1-3. 費用の縮減に関する具体的な方針

(1) 中長期的視点に立ったトータルコストの縮減を図るための基本方針

市町村を主とする地方自治体では、厳しい財政状況下で必要なインフラの機能を維持していくために、中長期的なトータルコストの縮減や予算の平準化を図る必要がある。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、インフラの集約・再編等の推進を挙げている。

Ⅲ. 集約・再編やパラダイムシフト型更新等のインフラストック適正化の推進

社会情勢の変化や利用者ニーズ、将来のまちづくり計画等を踏まえたインフラの集約・再編や、機械設備の耐用年数の到来など来るべき大更新時代に備えた更新時のパラダイムシフトの検討など、インフラストックの適正化に向けた取組を推進する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28 より抜粋

また、具体的な実行策として、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、以下の3つを挙げている。

1. インフラ（本計画では「トンネル」）の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新を出来るだけ回避することが重要であることから、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を推進する。
2. インフラの新設・更新時には、維持管理が容易かつ確実に実施可能な構造を採用するほか、修繕時には利用条件や設置環境等の各施設の特性を考慮するなど、合理的な対策を選択する。
3. 今後、グローバルな都市間競争や、人口減少、少子高齢化、地球温暖化等の進展を見込んでいく中で、インフラに求める役割や機能も変化していくものと考ええる。このため、老朽化の対策の検討にあたっては、その時点で各施設（トンネル）が果たしている役割や機能を再確認したうえで、その施設の必要性自体を再検討する。検討の結果、必要性を認めることができる施設については、更新等の機会を捉えて社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能転換、用途変更や複合化・集約化を図る一方、必要性を認めることができない施設については、廃止・撤去を進めるなど、戦略的な取組を推進する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.4 より部分抜粋、適宜要約

（２）集約化・撤去の対象検討

維持管理コスト縮減の観点から、将来的な集約化・撤去の可否について検討を行うため、各トンネルの利用状況を調査した。

１．道路ネットワーク状況

当該の各トンネルが位置する近隣の路線状況について示す。

当該路線は「上原京殿線」「中野大多喜線」「湯蔵西部田線」「堀切牛久線」「葛藤筒森線」「星井畑線」「宇野辺当月川線」「会所弓木線」である。

近隣の国道と県道については、以下の通りである。

１）一般国道

（１）一般国道 297 号線

起点	千葉県館山市（北条交差点＝国道 128 号、国道 410 号起点）	総延長
終点	千葉縣市原市（市原悼頭入口交差点＝国道 16 号交点）	115.3km
通過する自治体	千葉県南房総市、鴨川市、勝浦市、大多喜町	

（２）一般国道 465 号線

起点	千葉県茂原市（国道 128 号、国道 409 号交点）	総延長
終点	千葉県富津市（国道 16 号交点）	123.7km
通過する自治体	千葉県いすみ市、大多喜町、君津市	

２）一般県道

（１）一般県道 32 号線

起点	千葉県夷隅郡大多喜町三又（国道 297 号交差点）	総延長
終点	千葉県君津市久留里市場久留里交差点（国道 410 号交点）	16.68km
通過する自治体	千葉県大多喜町、市原市、君津市	

（２）一般県道 177 号線

起点	千葉県勝浦市興津（興津坂入口交差点、国道 128 号交点）	総延長
終点	千葉県夷隅郡大多喜町市川（国道 465 号交点）	-km
通過する自治体	千葉県勝浦市、大多喜町	

対象トンネルが位置する道路の利用状況を示す。

火事・救急 119番

警察 110番

大 衆 関 名	所在地	電話番号	機 関 名	所在地	電話番号
多 摩 町 役 場	大多多93	82-2111	西 畑 駐 在 所	市川168-1	83-0074
東上東横武蔵野ネット興業事務所	新越14(興業合同行会内)	82-2211	総 電 駐 在 所	大戸642-2	82-3009
興業町建設室(大多多)東上東横	新越14(興業合同行会内)	82-2614	いすみ鉄道線大多多駅	大多多264	82-2161
興業町都市工務局役場	船177-3-2	82-2845	大多多市庁舎(東原事業所)	成原市廣尾661	0475-28347
大多多 幹 部 交 番	機関147	82-2024	東京電力信託本部東京支店	いすみ市大塚7400-18	0120-895952
大 川 駐 在 所	小機1448-2	85-0039	大日本電信電話株式会社		113

序号	名 称	所在地	电话 (0470)
①	川 野 病 院	泉火786	82-2008
②	嶋 野 整 骨 院	根足48	82-5033
③	大多善整形外科	瑞福147-5	55-5775
④	大 菜 葉 科 医 院	大多善248	82-2918
⑤	おおたき歯科医院	船子124-1	82-3411
⑥	ちくま接骨院	大多善50	82-3301
⑦	さとう歯科医院	新丁9	82-2884
⑧	小 坂 整 骨 院	新丁43	42-4021
⑨	小 高 病 院	大多善62	82-2521
⑩	大 多 善 病 院	上原786	82-2714
⑪	君 塚 医 院	小沢用134	43-0012
⑫	中 島 医 院	赤池41	85-0615

通行止めが生じた場合、
集落が孤立する可能性が
ある対象トンネル

11. 向山トンネル
12. 共栄トンネル
13. 塚越隧道

14. 蕪来3号トンネル
15. 蕪来4号トンネル
16. 牛尻戸下トンネル
17. 牛尻戸上トンネル
25. 清水代トンネル

	大多喜町役場
	千葉県美瑛合同庁舎
	美瑛市広域消防本部
	交番・駐在所
	国道
	県道・幹線道路
	鉄道・駅
	消防機器器具置庫
	倉村斗里根保嬰保健所 (倉村斗里根地区に所在する児童福祉施設として、 平成27年10月より「倉村斗里根児童福祉センター」として名称変更)
	土石流発流地域 (土石流発生防止対策事業(平成26年度)で指定された区域)

通学・通園路に該当する
と想定される対象道路

避難場所及び避難所

番号	名 称	所在地	対象地区	電話番号(0470)
①	上津小学校教育	下大多喜100	上津地区	82-2841
②	みつば保育園	船子237-2	大多喜地区	82-5530
③	大多喜中学校	船子197	内原、船子、森畠	82-2914
④	大多喜小学校	大多喜12	大多喜、板台、久保、塩箱	82-2804
⑤	大多喜高等学校	大多喜481	大多喜地区	82-2621
⑥	中央公民館	大多喜486-10	田丁、組屋、鋤谷、泉水、栗山	82-3188 82-3002
⑦	海洋センター	大多喜486-12	栗山田、上原、朝原	82-2462
⑧	老人福祉センター	新丁163	新丁	82-2101
⑨	緑小学校	大戸433	総元地区、川畑	82-3008
⑩	農村コミュニティーセンター	三条440-1	西部地区	83-0244
⑪	小畑小学校	松尾722	平塚、倉倉、小笠、飯敷、松原、西田、新嘉用、百鋒	83-0004
⑫	西中学校	中野589	伊保田、板谷、市川、中野新町、中野本村、堀切、三条	83-0014
⑬	つくみの森保育園	中野260	西部地区	83-1411
⑭	田成小学校学童部分設(児童館13歳以下)センター	宇崎南262-1	平沢、宇崎原、小沢、苗苗、坪内	84-0044
⑮	田成小学校年代分設	弓木55-2	田代、木木	84-0072
⑯	旧老親集落センター	大田代1229-1	大田代地区	85-0773
⑰	老川小学校	小田代524-1	川井地区(会所を除く)	85-0011
⑱	旧老川小学校会所分設	森森1791	会所	85-0255

3. 集約化・撤去の検討結果

対象の各トンネルについて、周辺路線の位置関係や利用状況を基に集約化・撤去の可否について検討を行った結果を下表にまとめた。

検討の結果、いずれのトンネルも撤去・集約化を行った場合、集落が孤立化する、観光施設や公共施設までの移動が困難となる、通学路としての機能が失われるといった弊害が生じる。そのため、集約化・撤去は実施せず、予防保全段階における定期的な修繕を実施することで維持管理コストの縮減を図る方針とする。

番号	路線名	施設名	延長 (m)	廃止・通行止め	集約化・撤去が困難である理由／廃止・通行止めが可能である理由
1	町道上原京殿線	横吹トンネル	33.0		町の中心市街地の近隣にあるため、集約化・撤去は困難である。
2	町道中野大多喜線	西部田トンネル	41.5		町の中心市街地と上総中野駅周辺を結ぶ路線にあるため、集約化・撤去は困難である。
3	町道湯倉西部田線	弥喜用トンネル	74.0		町の中心市街地と国道465号線を結ぶ路線にあるため、集約化・撤去は困難である。
4	町道湯倉西部田線	湯倉トンネル	80.5		公共施設(農村コミュニティセンター、西畑小学校)へのアクセス道路であるため、集約化・撤去は困難である。
5	町道中野大多喜線	竹の沢トンネル	70.5		公共施設(西中学校、つぐみの森保育園)へのアクセス道路であるため、集約化・撤去は困難である。
6	町道堀切牛久線	やまびこトンネル	72.0		町の北西部と県道172号線(市原市)を結ぶ最短路線にある。迂回路が無く、撤去した場合にかなり遠回りになるため、集約化・撤去は困難である。
7	町道堀切牛久線	御行堀トンネル	57.0		町の北西部と県道172号線(市原市)を結ぶ最短路線にある。迂回路が無く、撤去した場合にかなり遠回りになるため、集約化・撤去は困難である。
8	町道堀切牛久線	栢ノ木隧道	95.0		町の北西部と県道172号線(市原市)を結ぶ最短路線にある。迂回路が無く、撤去した場合にかなり遠回りになるため、集約化・撤去は困難である。
9	町道堀切牛久線	沢向トンネル	86.5		町の北西部と県道172号線(市原市)を結ぶ最短路線にある。迂回路が無く、撤去した場合にかなり遠回りになるため、集約化・撤去は困難である。
10	町道中野大多喜線	方丈谷トンネル	65.0		公共施設(西中学校、つぐみの森保育園)へのアクセス道路であるため、集約化・撤去は困難である。
11	町道葛藤筒森線	向山トンネル	91.0		観光施設へのアクセスに利用されている。また、通行止めが生じた場合、集落が孤立する可能性があるため、集約化・撤去は困難である。
12	町道葛藤筒森線	共榮トンネル	34.0		観光施設へのアクセスに利用されている。また、通行止めが生じた場合、集落が孤立する可能性があるため、集約化・撤去は困難である。
13	町道葛藤筒森線	塚越隧道	101.0		観光施設へのアクセスに利用されている。また、通行止めが生じた場合、集落が孤立する可能性があるため、集約化・撤去は困難である。
14	町道葛藤筒森線	蕪来3号トンネル	10.5		素掘り構造のため事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。
15	町道葛藤筒森線	蕪来4号トンネル	25.0		素掘り構造のため事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。
16	町道葛藤筒森線	牛尻戸下トンネル	75.0		素掘り構造のため事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。
17	町道葛藤筒森線	牛尻戸上トンネル	31.8		町の南西部における国道465号線と県道81号線を結ぶ路線にあるため、集約化・撤去は困難である。
18	町道星井畑線	春釜トンネル	76.5		町の南西部(国道465号線)と内浦山県民の森(鴨川市)とのアクセス路線上であるため、集約化・撤去は困難である。
19	町道星井畑線	筒野上トンネル	78.5		町の南西部(国道465号線)と内浦山県民の森(鴨川市)とのアクセス路線上であるため、集約化・撤去は困難である。
20	町道宇野辺当月川線	宇野辺トンネル	75.5		町の南部における県道177号線と県道178号線を結ぶ路線にあるため、集約化・撤去は困難である。
21	町道会所弓木線	弓木2号トンネル	97.0		近隣住民の通学(旧西畑小学校宇筒原分校、旧老川小学校会所分校)に使用されている路線であるため、集約化・撤去は困難である。
22	町道会所弓木線	弓木隧道	135.0		近隣住民の通学(旧西畑小学校宇筒原分校、旧老川小学校会所分校)に使用されている路線であるため、集約化・撤去は困難である。
23	町道黒原佐野線	川畑トンネル	171.0	通行止め(現況)	素掘り構造のため事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。
24	町道小川南線	東岩屋トンネル	82.5		現道幅員が狭く利用者が少ないことから事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。
25	町道塚越蕪来線	清水代トンネル	46.0		素掘り構造のため事後保全型とし、修繕による延命措置の対象外とする。

NO.	トンネル名	構造種別	路線名	所在地	トンネル延長 (m)	幅員 (m)	建設 年次	供用 年数	最新点検 年次	次回点検 年次	対策区分 判定	修繕計画（2025－2029）対策と事業費総括(千円)										施設別 概算工事費	健全度Ⅲを 下回る予想 年	対策優先 順位	新技術の 活用	
												2025		2026		2027		2028		2029						
												対策	事業費	対策	事業費	対策	事業費	対策	事業費	対策	事業費					
1	横吹トンネル	覆工（アーチ部は コルゲートプレート）	上原京殿線	大多喜町大字上原	33.2	4.3	1984	40	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2069年	18	無	
2	西部田トンネル	覆工・吹付け	中野大多喜線	大多喜町大字西部田	41.6	7.0	1975	49	2023	2028	Ⅲ	設計	1,949	断面修復工 ネット工 ひびわれ注入工 ひびわれ充填工 漏水対策工	6,496		0	（定期点検）	1,800		0	8,445	-	3	有	
3	弥喜用トンネル	覆工・吹付け	湯倉西部田線	大多喜町大字弥喜用	73.9	6.9	1974	50	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	3,588	3,588	2048年	12	無	
4	湯倉トンネル	覆工・吹付け	湯倉西部田線	大多喜町大字湯倉	80.4	5.8	1970	54	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	1,479	1,479	2038年	9	無	
5	竹の沢トンネル	覆工・吹付け	中野大多喜線	大多喜町大字紙敷	70.5	6.6	1973	51	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	4,737	4,737	2039年	11	無	
6	やまびこトンネル	覆工コンクリート	堀切牛久線	大多喜町大字紙敷	72.0	8.3	1989	35	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	1,255	1,255	2044年	10	無	
7	御行堀トンネル	覆工コンクリート	堀切牛久線	大多喜町大字紙敷	57.3	7.2	1979	45	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	1,740	1,740	2045年	15	無	
8	栢ノ木隧道	覆工コンクリート	堀切牛久線	大多喜町大字紙敷	90.7	7.7	1983	41	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2045年	15	無	
9	沢向トンネル	覆工コンクリート	堀切牛久線	大多喜町大字中野	86.6	7.1	1976	48	2023	2028	Ⅲ	設計	4,874		0	断面修復工 ネット工 ひびわれ注入工 漏水対策工 裏込め注入工	16,246	（定期点検）	1,800		0	21,120	-	2	有	
10	方丈谷トンネル	覆工コンクリート	中野大多喜線	大多喜町大字中野	65.3	8.6	1981	43	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2056年	8	無	
11	向山トンネル	覆工（アーチ部は コルゲートプレート）・ 吹付け	葛藤筒森線	大多喜町大字葛藤	91.0	4.3	1970	54	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800	設計	4,907	4,907	2047年	6	無	
12	共榮トンネル	覆工（アーチ部は コルゲートプレート）	葛藤筒森線	大多喜町大字小田代	34.0	4.3	1970	54	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2061年	6	無	
13	塚越隧道	覆工・吹付け	葛藤筒森線	大多喜町大字小田代	101.1	5.9	1980	44	2023	2028	Ⅲ	設計	800	防錆処理工 ネット工 ひびわれ注入工	2,667		0	（定期点検）	1,800		0	3,467	-	1	有	
14	蕨来3号トンネル	素掘り	葛藤筒森線	大多喜町大字筒森	10.5	3.6	不明	不明	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	-	-	無	
15	蕨来4号トンネル	素掘り	葛藤筒森線	大多喜町大字筒森	25.0	3.6	不明	不明	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	-	-	無	
16	牛尻戸下トンネル	素掘り	葛藤筒森線	大多喜町大字筒森	74.7	3.5	不明	不明	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	-	-	無	
17	牛尻戸上トンネル	覆工（アーチ部は コルゲートプレート）	葛藤筒森線	大多喜町大字筒森	31.5	3.9	1997	27	2023	2028	Ⅱ b		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2053年	19	無	
18	春釜トンネル	覆工・吹付け	星井畑線	大多喜町大字筒森	76.6	4.9	1979	45	2023	2028	Ⅱ a		0		0		0	（定期点検）	1,800		0	0	2045年	15	無	
19	筒野上トンネル	覆工コンクリート	星井畑線	大多喜町大字筒森	78.7	4.8	1981	43	2023	2028	Ⅲ	設計	2,825		0	0	（定期点検）	1,800	ネット工、ひびわれ注入工 漏水対策工、裏込め注入工	9,415		0	12,240	-	4	有

NO.	トンネル名	構造種別	路線名	所在地	トンネル延長 (m)	幅員 (m)	建設 年次	供用 年数	最新 点検 年次	次回 点検 年次	対策 区分 判定	修繕計画（2025－2029）対策と事業費総括(千円)								施設別 概算工事費	健全度Ⅲを 下回る予想 年	対策優先 順位	新技術の 活用			
												2025		2026		2027		2028						2029		
												対策	事業費	対策	事業費	対策	事業費	対策	事業費					対策	事業費	
20	宇野辺トンネル	覆工・吹付け	宇野辺当月川線	大多喜町大字面白	75.6	5.5	1982	42	2023	2028	Ⅲ	設計	365	断面修復工 防錆処理工 繊維シート当て板工 ネット工	1,217	0	(定期点検)	1,800		0	1,582	-	4	有		
21	弓木2号トンネル	覆工(アーチ部は コルゲートプレート)・ 吹付け	会所弓木線	大多喜町大字会所	97.4	4.4	1977	47	2023	2028	Ⅱ a		0		0	0	(定期点検)	1,800	設計	1,465	1,465	2051年	13	無		
22	弓木隧道	覆工(アーチ部は コルゲートプレート)・ 吹付け	会所弓木線	大多喜町大字弓木	136.1	4.5	1968	56	2023	2028	Ⅱ a		0		0	0	(定期点検)	1,800	設計	706	706	2047年	13	無		
23	川畑トンネル	覆工(アーチ部はライ ナープレート)・吹付け・ ボックスカルバート・素 掘り	黒原佐野線	大多喜町大字川畑	170.7	2.5	不明	不明	2023	2028	Ⅲ		0		0	0	(定期点検)	1,800		0	0	-	-	無		
24	東岩屋トンネル	吹付け	小川南線	大多喜町大字平沢	82.5	2.7	不明	不明	2023	2028	Ⅱ a		0		0	0	(定期点検)	1,800		0	0	-	-	無		
25	清水代トンネル	素掘り	塚越蕨来線	大多喜町大字小田代清水 代	45.7	2.5	不明	不明	2023	2028	Ⅱ a		0		0	0	(定期点検)	1,800		0	0	-	-	無		
		事業費内訳	a補修工事費								(千円)				10,380		16,246		9,415			36,041				
			b点検費								(千円)								45,000			45,000				
		その他	c設計委託費(事業費の30%)								(千円)		10,813								19,877	30,690				
		概算工事費合計 (a+c)										(千円)		10,813		10,380		16,246		9,415		19,877	66,731			
		点検診断、措置に係る事業費合計 (a+b+c)										(千円)		10,813		10,380		16,246		54,415		19,877	111,731			